

# 縄南道通信



平成31年1月8日 発行

2018年度 第9号

**「返事！あいさつ！声！ダッシュ！！」**

くすは縄手南校 横小路校舎

日比野 功

東大阪市立義務教育学校くすは縄手南校教育理念

**～縄南道による～二十歳の成人式に**



**当たり前の行動を当たり前に行うことができる人の育成**

**2019「縄南道」 心で磨け！ 誇れる縄手南の歴史づくりを！**

新しい年を迎えました。年の初めには心機一転、新年の誓いを立て新たな目標に向かって進んでいきます。日本の文化としてその気持ちを書き初めで表現したり、初詣に出かけたり、おせち料理やお雑煮をいただいたりします。2019年は縄手南にとっても歴史的な年となります。中学校は32年間、小学校は52年間の歴史を閉じ、義務教育学校「くすは縄手南校」として新たなスタートを切る年です。平成28年度より学校教育法が改正され新たに義務教育学校が創立されました。現時点で全国には82校の義務教育学校が開校しています。そのうち施設一体型は74校、施設隣接型は5校、施設分離型は3校（京都府、茨城県、鳥取県）です。くすは縄手南校は1100人を超える全国でも例のない施設分離型義務教育学校として開校します。施設が分離しているハンデを克服するためには、明確な教育理念でつながらなければなりません。「当たり前」ということにこだわり、「人格形成」という柱に重きを置き「～縄南道による～二十歳の成人式に当たり前の行動を当たり前に行うことができる人に育成」という教育理念に向かって、モットーである「返事！あいさつ！声！ダッシュ！！」を着実に実行して達成することを目指しています。もちろんそこには、「一生懸命」「ていねい」「ひたむき」という「勝因」、「いい加減」「適当」「だいたい」という「敗因」を常に意識することが必要です。さらに、「素直」ということを意識して下さい。素直な人には本質が見えます。素直さというのは一つの素晴らしい資質です。素直な人には強い人のやっていることの本質が見えます。教わったことを真摯に受け止め、どんどん吸収し上達するという当たり前のルーティーンが素直な人には生まれます。決して上辺だけの取り組みではなく本質を見極めた行動ができるようになり、本当に必要な力が身につきます。さらに縄手南の強みは地域の皆様の学校教育へのご理解です。これがなければ学校は育ちません。まだ中学生で気づいていないこともあるでしょうが、大人になればこの意味が分かります。2019年は立派に胸をはって縄手南の開校式を整え、夢と希望に満ちあふれた開校式を開催したいと考えています。縄手南は「日本一」を目指しています。「自分の学校が誇れる」「自分の住んでいる地域を誇れる」ということは素晴らしいことです。ならば、「誰にも負けない」と誇れるように「返事！あいさつ！声！ダッシュ！！」を徹底しましょう。「素直」を磨き「当たり前」のレベルを「日本一」まで高めましょう。「敵は我にあり」です。2019年に「勝負」を挑みましょう！。

**コミュニティースクールを意識して ～行事のあり方をマラソン大会から考える～**

12月2日（日）、第32回校区マラソン大会が開催されました。このマラソン大会は32年前に縄手南中学校が開校した際に、地域の多くの方々にお世話になったお礼を兼ねて、中学生が頑張っている姿を地域に披露する場として、縄手南校区をあげてPTAや校区校外指導協議会の方々をは

はじめとした地域諸団体、ならびに地域ボランティアの皆様の協力で始まった行事です。残念ながらバス通りを越えてコースを設定するには警察からの道路使用許可が認められないために、バス通りより西方はコース設定できませんでしたが、できる限りの縄手南校区全域をコースとしています。大会を重ねるにしたがって、中学生だけではなく小学生や地域の大人、こどもたちも含めた大会にしたいという願いのもと、中学校マラソン大会にあわせ、校区校外指導協議会主催で平成12年度より校区ファミリーマラソンも同時開催されることとなりました。第1回校区ファミリーマラソン当日は小雨で中止となり残念ながら中学校マラソン大会だけの開催であったことを覚えておられる方々もいるでしょう。また、平成31年度に「義務教育学校くすは縄手南校」が開校することを機に、昨年度より小学校・中学校合同のマラソン大会開催となりました。かねてから縄手南校区全体で開催したいという地域の思いが膨らんだ取り組みです。小中学生とファミリーマラソン参加者で約1400名のランナーが走り、約240名のスタッフが手伝っ



スタッフ打ち合わせ(上)と  
開会式の様子(下)

て下さり、沿道の応援にもたくさんの方々が参加して下さいました。中学校ではPTAの皆様が前日から準備してレース後に豚汁をふるまって頂きました。生徒はとても満足に美味しくいただき、本当に感謝しています。思えば開校当初は地域の皆様のご協力のもとぜんざいをふるまっていたいただき、歴史を重ねて現在は豚汁として復活しています。準備にはかなりのご苦勞をおかけしていますので、生徒には皆様のお気持ちを大切にしてほしいと思っています。ぜひ、近い将来には施設一体型の校舎が建ち、前期課程児童も後期課程生徒も全員で豚汁をいただきたいものです。

このように概ね成功したマラソン大会とファミリーマラソンではありましたが課題も残りました。マラソン大会では児童生徒の安全確保の1つとして使用コース上に矢印等を示させていただいています。グラウンド用石灰を使用していますので風で飛散することもあり、地域の皆様にはご迷惑をおかけしていることも事実です。大会終了後可能な限り貼り紙やポスターを撤去するようにしていますが、コース上のラインが消しきれなかったりすることはこれまでもありました。すでにコース付近にお住まいの皆様がライン表示を消して下さっていたりした箇所も多くありましたが、「雨が降るまでほったらかしか」と、今回お叱りの電話をいただいたことも事実です。また、これまでも貼り紙やポスターの掲示箇所についてご迷惑をおかけすることもありました。今後も学校と地域が一つになった行事を運営するにあたり、こうした課題に対してもしっかりと考えていく必要があります。日本一を目指す「くすは縄手南校」、日本一を目指す「縄手南校区」に今後も多大なるご支援とご協力をよろしくお願いいたします。

#### 部活動・コンクール・発表会等表彰

「税についての作文」 全国納税貯蓄組合連合会、国税庁主催 東大阪納税貯蓄連合会会長賞 今川颯太(9年)

第55回大阪府〈歯の保健〉図画・ポスターコンクール 大阪府教育委員会賞 吉川ひなの(8年)

大阪府学校歯科医師会会長賞 格清美優(9年) 入選 真島綺星(9年)

女子バスケットボール 第52回東大阪市民体育大会 少年女子之部 Bブロック 準優勝

剣道 三級授与 水谷晴輝(7年) 川村柚月(7年) 稲崎愛莉(7年)

法務省主催第68回「社会を明るくする運動」作文コンテスト 優秀賞

岡部奈央(9年) 村本さくら(9年) 三谷詩葉(8年) 竹内真宝(8年) 中村逢(7年)

英語まつり 学校代表

杉本みなみ 堀部恭子 戸田雄太 松尾天汰 西山楽夏 稲原ひろこ 豊田青空 津谷彩夏 岸本海斗  
野口ひなた 鳴川美夕綾 木田華夢 川野未乃華 豊田明里 中田美月 三谷詩葉(全8年)